

日本体育大学

令和 8 年度入学者選抜 【出題の意図・模範解答】

学部・選抜方式	全学部 一般選抜 B 日程
科目	国語

【出題の意図】

問題 I

この大問は、衣服と人および人間文化との関わりを題材とした評論を素材として作成した。西洋における衣服製作の曲線的裁断技法の背景には、母体回帰的願望がある、という点が中核となる論旨である。論展開の材料としては、日本の裁断法・鋏が有する根源性・精神分析の知見等が使用され、厚みのある論述が形成されている。そのように稠密性のある評論を的確に読解する力量を測定するのが、本問の主目的である。心身のあり方と衣服との関わりというテーマは、スポーツ科学・健康科学・スポーツ教育・保健医療・スポーツ文化等を主領域とする本学の学部学科構成にも叶うものと考えられる。具体的な設問構成は、表記・語義・文脈の理解などの基礎レベルのものから、内容説明・内容真偽・論理構造の理解などの読解力の深度を測るものまで、小問数に偏りの生じないように配慮した。

問題 II

「問題 I」が敬体を採用した評論文であるため、本大問では常体の評論文を出題素材として選定した。設問構成は、Iと同様に、表記・語義・文脈の理解を問うものから、指示内容・内容説明・内容真偽・論理構造の理解などの読解力を問うものまで、幅広く用意した。小問数の偏りが生じないように考慮した点も、Iと同様である。素材の文章は、家族あるいは親戚という枠組みや概念が流動的である事実を、文化人類学の立場から〈親族〉概念を援用し、さらに〈ケア〉という具体的実践を切り口として論じたアクチュアリティーに富んだ内容である。常識の枠に安住していると、家族の流動性・可塑性は見えにくい。本文の読解を通して、受験者の柔軟な読解力・思考力の発現を願った出題である。

【解答】

問題 I

問一 【 5 】 問二 【 2 】 問三 【 1 】 問四 【 4 】 問五 【 5 】
問六 【 3 】 問七 【 3 】 問八 【 1 】 問九 【 3 】 問十 【 2 】
問十一 【 5 】 問十二 【 4 】 問十三 【 1 】 問十四 【 2 】 問十五 【 3 】

問題 II

問一 【 2 】 問二 【 3 】 問三 【 4 】 問四 【 1 】 問五 【 3 】
問六 【 5 】 問七 【 1 】 問八 【 5 】 問九 【 4 】 問十 【 2 】
問十一 【 3 】 問十二 【 5 】 問十三 【 4 】 問十四 【 3 】 問十五 【 2 】